

平成29年 年頭の挨拶

一般缶DVDの普及活動と
「安心」「安全」「省エネ」を
目指す事業に取り組み全日本一般缶工業団体連合会会長
東日本一般缶工業協同組合 理事長

定村 光

明けましておめでとございます。
皆様方には、ご健勝で新年をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。併せまして、昨年中の本連合会への格別
なるご支援、ご協力に厚く御礼申し上げま
す。さて、昨年を振り返ってみますと、世界
情勢は大きな変化を遂げた1年であったと
思います。6月の英国民投票による欧州連
合（EU）離脱決定、11月の米大統領選で
のトランプ氏勝利など世界情勢は予測を超
えた事態に直面しました。日本国内におい
ても、4月の熊本地震、各地で頻発する豪
雨被害など不安定な状況が続きました。一般缶業界におきましては、テーマパー
ク缶や災害用備蓄缶など一部は健闘してい
るものの、贈答向けを中心とした需要の落
ち込みに歯止めがかかっておりません。加えて企業経営の根幹を揺るがせかねない鋼
材値上げ問題に直面し、極めて厳しい環境
下に置かれました。こうした状況を踏まえまして、当連合会
は様々な事業に取り組みでいく所存です。まず、昨年11月に完成しました一般缶も
の知りDVD「人の技と夢が詰まった一般
缶」を小学校の社会科の授業に使っていた
だく普及活動を積極的に展開してまいりま
す。DVDの監修先である東京都台東区立
台東育英小学校からスタートし、授業を通
して学んだ小学生を対象にDVD感想文コ
ンクールなどを企画しながら、東京から全
国の小学校に広めていきたいと思っており
ます。つぎに、業界の内外で「安心」「安全」「省
エネ」が叫ばれており、その重要性が増し
ています。こうした中で、当連合会では、
一般消費者が商品やサービスを選ぶ際、社
会規範に配慮したものを優先する消費行動
を意味する「エシカル消費」の勉強会を昨
年から始めておりますが、今年はこのテー
マに関係づけた道筋を探ってまいります。
また、環境問題やコスト削減を目指した
省エネの取り組みについては、各企業の収
益にも大きく影響する問題でもありますの
で、今年7月開催の「一般缶イノベーション
フォーラム」で取り上げる予定にしてお
ります。懸案であります一般缶業界の組織再編に
つきましては、大所高所から時間をかけて
議論を尽くしていく所存です。今後も会員並びに関係団体の皆様のご意
見を真摯に受け止めながら、当連合会の活
動を着実に推進してまいりますので、ご理
解とご協力を切にお願いいたします。最後になりますが、本年が皆様にとりま
して素晴らしい1年になりますよう祈念申
上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。公取委と連携し
下請取引の適正化に努める

経済産業省 自製産業局

金属課長 山下 隆也

年頭に寄せて

平成29年の新春を迎え、謹んでお慶びを申
上げます。また、昨年は経済産業行政に対
する深いご理解と格別のご支援を賜りました
ことを厚く御礼申し上げます。我が国にとって、製造業は雇用創出、外貨
獲得の面で重要な役割を果たしています。そ
の中でも金属産業はサプライチェーンの中核
を担い、様々な産業に高品質な素材を安定的
に供給するという点において、国内のみなら
ず世界の産業に大きな影響を与える存在です。
他方で海外競合者のキャッチアップ、ユー
ザーニーズの高度化と多様化、エネルギーコ

ストの上昇といった事業の制約要因等、共通の課題を抱えています。これらの課題に応えるためには、従来の素材・産業の垣根を越えて、優れた技術・知見に基づいた研究・技術開発が進められる必要があります。部素材の技術開発や共通課題への対応は、日本のものづくりの競争力を維持・強化するうえで欠かせません。こうした状況を踏まえ、当省は昨年6月に組織再編により鉄鋼課と非鉄金属課を統合して金属課を発足させ、グローバル戦略、技術開発戦略、国内製造基盤強化戦略といった取組を着実に展開してまいりました。

金属産業にとつてのグローバルな課題である過剰生産能力問題については、これまで以上に官民一体となった取組を推進してまいります。昨年9月のG20サミットにおいては、日米欧が主導してグローバル・フォーラムの設立に合意し、10月の日中韓貿易大臣会合共同声明では鉄鋼の過剰生産能力のグローバル・フォーラムを速やかに設置することについて一致し、12月に第1回の会合を開催しました。本年も各国と調整を進め、過剰生産能力問題の解消に向けた中身のある議論を行ってまいります。

類発するアンチダンピングやセーフガードのような貿易措置については、WTOルールに整合的に調査・発動されるよう主要各国に働きかけるとともに、日本製品に対する実害を最小化すべく、各国の日本大使館やJET ROとも連携しつつ取り組んでいきます。

国内では、東日本大震災以降、産業用電気料金が約40%上昇し、典型的な電力多消費産業である金属業界の経営に少なからぬ影響を与えています。また、鉄鋼業は産業部門における最大の二酸化炭素排出業種ですが、震災

の影響により二酸化炭素排出量と排出原単位は、省エネ投資にもかかわらず増加傾向にあり、新たな技術の導入など地球温暖化対応の観点からの取組強化が求められています。昨年、パリ協定で全ての国と地域が温室効果ガスの削減努力を約束しました。このため、企業は国内の製造過程での削減のみではなく、製品のライフサイクルに着目し、国内で製造する優れたエネルギー・環境分野の技術を積極的に海外展開し、世界全体での削減に取り組むことが必要です。また、国全体としても、いかに企業のそうした取組を後押しし、世界全体での削減に貢献していくか、その貢献量を「見える化」して世界とその量を競っていくか、という視点が重要になると考えております。

我が国は、金属素材の原料となる鉱物資源の多くを海外からの輸入に依存しています。特にレアメタル・レアアースなどの有用金属については、産出国が特定国に偏っているなどの原料調達リスクも存在しています。金属リサイクルの推進は、資源の有効活用という観点に加えて、調達リスクの観点からも重要です。金属リサイクルをより推進させるため、来年度から都市鉱山に着目した技術開発を進めてまいります。具体的には、デジカメやスマホなどの小型家電から有用金属を効率的に回収するため、製品・部品を自動選別する技術より効率的に製錬を行う技術を開発してまいります。リサイクル技術の高度化を図ることで、金属素材産業の競争力強化につなげていきたいと考えております。

デフレ脱却に向けては官民一体でデフレマインドの払拭に全力を挙げる必要があります。しっかりとした賃上げが行われなければ、経

済の好循環は実現できません。特に、収益を挙げた企業については、是非賃上げに貢献していただきたいというのを、粘り強くお願いしてまいりたいと思います。

とりわけ、日本経済を持続的な成長軌道に乗せていくためには、中小企業の取引条件を改善するとともに、付加価値を生み出すことで、中小企業で働く方の賃金につなげ、地方経済を活性化していくことが重要です。政府としては、この改善のため、公正取引委員会と連携し、下請法の運用基準の改正をはじめとする法令の運用強化など、下請取引の適正化に徹底的に取り組めます。金属産業においても、下請等中小企業の取引条件の改善に向け、引き続き積極的な協力をいただくよう改めてお願いいたします。

製造現場の安全の確保といった点も重要です。鉄鋼業に加え、紙パルプなど死亡事故が増加傾向にある産業にヒアリングしたところ、他業種の安全管理体制や事故事例について深く継続的に学ぶ機会がほしいとの要望が寄せられました。このため、業種の垣根を越えて情報共有や議論ができるよう、官民の協議会を立ち上げ、厚生労働省と連携しながら進めてまいります。また、実務レベルだけでなく経営者のレベルでの取組も行うこととし、本年3月までにシンポジウムの開催を目指します。

末筆ながら、一般缶工業界の益々の御発展と、皆様の御健康、御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



時代にマッチした 一般缶の製品づくりに邁進

西日本一般缶工業協同組合

理事長 中田 成一



新年あけましておめでとうございます。皆様にはご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、4月に九州地方初の震度7の熊本地震や8月に台風10号が東北・北海道に多大な被害をもたらしました。災害に見舞われました方々が復興に向かって頑張っておられると思います。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

このような中、8月のリオ五輪での日本選手の活躍、特に体操の男子団体やレスリング等の「金メダル」、最後の最後まで諦めない精神、史上最多のメダル獲得数には感動しました。

日本経済はアベノミクスから3年が経ちました。一昨年発表した、(1)希望を生み出す強い経済(2)夢を紡ぐ子育て支援(3)安心につながる社会保障の「新3本の矢」が具体的な施策として実現していくことを強く望みます。

まだ、消費は引き続き低迷しておりますが、有効求人倍率での雇用環境は改善されてきていますので、経済成長も緩やかに好循環をもたらすと思っています。

私も、一般缶業界を取り巻く環境は、厳しさを増しておりますが、このような状態の中でも、缶容器の「八つの特性」と缶特有の美しい外観での本質的な優位性をPRし、広く需要を喚起していかなければと思っています。

一般缶業界でも昨年のイノベーションフォーラムで「女性の活躍の推進」をテーマとしましたが、女性が働きやすい会社としていくことも必要と考えます。

また、技術の交流では、「製缶における製造効率について」の情報交換を行って種々の課題に取り組んで改善していくことが大事だと思っています。

今年「酉」年。「酉」は、干支の十二支の10番目で、「商売に縁起が良く商売繁盛」と言われていますので、あやかりたいと思います。

昨年の年頭挨拶の中で、五行思想では「金」の属性を持つ年と申しました。昨年末の京都・清水寺の漢字でも「金」であり、今年も、日本経済がさらに伸長し、私も一般缶業界も五行の「金」にあやかっていると嬉しいと思っています。

そのためにも、業界あげて情報や技術を共有しながら、これまでお得意先だけを見ていた方向を、これから製缶メーカー自身が幅広く消費者へ発信していく必要があり、

時代にマッチした製品づくりに邁進していきたいと思っています。

今年が、各社にとってより良い年でありますことを祈念して新年のご挨拶といたします。

「継続は力なり」の精神で 一般缶の良さをアピール

中部製罐工業協同組合

理事長 池田 祥三



年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様並びに関係各位におかれましては、お健やかに新春をお迎えになられたことを謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は組合運営につきましてご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。まずは無事に今年も新年を迎えることが出来たことを改めて感謝する次第です。

さて、昨年を振り返りますと、4月の熊本大地震、6月の消費税アップの延期などがありました。なんとといってもショウ化されたアメリカ合衆国の大統領選挙が記憶に新しい出来事でした。マスメディアでは予測し得なかったトランプ候補が次期大統領に決まり、政治、経済ともにこの先行き不透明な状況が続く、文字通りトランプ占いに頼ることになりそうです。輸出企業には恩恵がある円安も、内需主体の我々には、原油や天然ガスの値上がりと共にエネルギーコストの上昇要因となつてきます。原材料インフレ、製品デフレの状況は今年もあまり変わりそうにはありません。

今年も政府の肝いりで賃上げが行われるでしょうが、それがすぐに消費行動の活性化にいたるまでにはなっていないように思われ、しかも東西の経済格差はますます顕著になっていくように見えます。

私も今年も飽きることなく昨年同様に、環境に対する優等生であるスチール缶の良さをアピールしていかなければなりません。「継続は力なり」の精神です。

相場の世界での「申酉騒ぎ戌笑う」という格言にあやかれば、今年もまた騒がしい年になりそうですが、年末には消費も活発さを取り戻して来年の成年には本当の笑顔になりますように、会員・賛助会員会社並びに関係各位の更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様様のますますのご活躍とご多幸を、心からお祈り申し上げます。

過去を参考に 足を地につけ慎重に進もう

全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田 正和

年頭挨拶



2017年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様方にはご健勝にて新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内においては4月にマグニチュード7.3の熊本大地震が起り、50人もの死者を出す大きな自然災害となりました。東日本大震災以降、日本列島は地震の活動期に入っていることをつくづく感じさせられました。

又、経済におきましては、なかなか景気が上向かないことを受け、日銀が1月に「マインナス金利の導入」を決定、更に政府が消費税引き上げを2年半延期しました。にもかかわらず景気上昇の機運は見えてきませんでした。

国外では11月のアメリカ大統領選挙でトランプ氏が勝利、お隣の韓国では大統領が弾劾される騒ぎになっております。トランプ氏の勝利を受け、日本でも円安ドル高、

株価の高騰が続いております。政治家経験のないトランプ氏が今後どんな政策を打ち出してくるのか、アメリカの影響を強く受ける日本としては目が離せない状況が続くことでしょうか。

さて、今年の干支は十二支では酉年、十干では丁（ひのと）だそうで、丁酉（ひのととり）という年になります。この組み合わせは60年に一度しかなく、60年前がどんな年であったのか振り返ってみました。

「ソ連が世界初の人工衛星の打ち上げに成功」「原子炉、初の臨界、原子の火ともる」「ところが有楽町に進出」「大阪にダイエーが開店」とどれも拡大戦略で大きな決断とともに新しい時代の一步を踏み出した年でした。酉年は革命の年とも言われているそうです。

しかし、その後、ソ連は解体、原子力発電は東日本大震災をきっかけに全面停止、そこからは倒産、ダイエーも経営危機に陥りました。どうも丁酉（ひのととり）の年の大きな一步は分が悪いようです。ただ、どの出来事も一つの時代を作ったのも事実です。新年をとっても順調な感覚で迎えられると、次の目標に向かって飛躍しようと気持ちも急ぐものですが、過去を参考に少し慎重に取り組んだ方がいいようですね。今年は足を地につけ、こつこつと地道に進んでいくこととしましょう。

皆様には、健康にご留意され、穏やかで実のある年を過ごされますようご祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

「想定外」の出来事が 良い方向に動くことを期待

東京都鍼灸地金商業協同組合

理事長 高野 康弘



年頭挨拶

新年あけまして、おめでとうございます。皆様には、幸多き新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、全日本一般缶工業団体連合会様におかれましては、当東京都鍼灸地金商業協同組合の発足時から長年に亘り、ひとかたならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年1年を振り返ってみますと、熊本地震を始めとする日本各地、及び世界各国での震災、台風による水害など自然災害が多発し甚大な被害ができました。また、日本人が巻き込まれたテロ事件も各国で頻発、被害も拡大し終息の目処がつきません。

そして、イギリスの「EU脱退」や、アメリカ新大統領誕生に伴う「TPP離脱」問題など「想定外」の出来事もありました。国内では、豊洲市場の盛り土問題、東京オリンピック競技会場候補地の迷走、内外自動車メーカーのデーター改ざん等、いろいろな問題が山積みのまま推移している状態であります。

しかし一方では、リオオリンピックでの日本のメダル数が史上最多（41個）を更新。そ

して3年連続となる日本人ノーベル賞受賞や、東京初となる「国立西洋美術館」の世界遺産登録と、うれしいニュースや明るい話題もありました。

我々業界におきましても、昨年は大変厳しい状況が続いた1年でありましたが、今年の干支は丁酉（ひのととり）です。「酉の市」に象徴されるように、酉年は「運氣もお客もとり込める」という、商売繁盛に繋がる年と言われております。今年も「想定外」の出来事が良い方向に動くことを期待し、本年が、一般缶業界にとりまして実り多き1年となりますように、祈願いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

若者たちが輝き活気ある1年に

一般缶友会 会長 齋藤 光由



年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年中は格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり、一言御挨拶申し上げます。

今年も丁酉（ひのととり）でございます。「丁」は安定するという意味があり、「酉」は果実が成熟に達した状態を表していると言います。とは言え、世界情勢は、トランプ大統領就任決定、イギリスのEU離脱決定など驚

きの連続です。国内を見ましても、安定には程遠いと言えるでしょう。私達一般缶業界を取り巻く環境も厳しさを増しております。

最近話題となっているものの一つに、人工知能がございます。暗記や計算を始め、データの集計や分析も瞬時に出来てしまいます。その分野ではもはや人間は人工知能には勝てないと言われております。

しかし、「考えて決断する」ことは、人工知能には決して出来ません。人間は、経験や価値観、感情といった多様な判断基準を組み合わせて「決断」という能力を持つております。これこそ不透明な時代を生き抜くために、最も必要とされるスキルではないでしょうか。

多様な判断基準、価値基準を統合してものごとを見極める「決断」が大切なことです。個人においては、個々に多様な判断基準を持つこと、集団においては、个性的であることが求められます。これは、若い世代の育成についても当てはまります。競争への参加と個性の顕在化が不可欠です。

我々の業界の課題は、若い世代の教育です。同世代仲間の中で切磋琢磨する環境は整っているでしょうか。おぼつかない技術でも黙って見守るゆとりがあるでしょうか。どんな小さなことでも発言することが成長する機会になると言います。他者との比較ではなく、進歩したことを褒めましょう。

一般缶友会としまして、交流会やセミナーなど、積極的に提案させて頂きます。「企業は人なり」と申します。若者たちが輝き活気のある1年に致しましょう。

どうぞ、本年も皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

定村会長

「メイド・イン・ジャパンで安心・安全の一般缶を全力で広めたい」

全日本一般缶工業団体連合会は平成29年1月20日、東京・港区の浜松町東京會館で平成29年新年賀詞交歓会を開催し、所属員会社、特別会員、特別賛助会員、一般賛助会員、協力会員、賛助会員、協賛会員など160名が出席した。

冒頭、定村光会長は「私共連合会は一般缶を広く使っていただくため色々な活動をしている。昨年11月に缶デザインから金属印刷、製缶、中身の充填までの工程を分かりやすく解説したDVDを制作した。未来の消費者であり、業界の働き手になるかも知れない子供たちに缶づくりのおもしろさ、素晴らしいさを小学校の授業で学んでほしいという意図で制作し、地元の台東育英小学校にも協力していただいた。今年はこのDVDを東京から全国に広めていく活動を展開する。一方で大きな目標として「安心」「安全」をテーマとした取り組みを考えている。一般缶は素材のスティールも美しい金属印刷もメイド・イン・ジャパンで中身商品を安心・安全に守ることを強く打ち出していきたい。

スティールとかブリキといっても分からない消費者が多いので、一般缶の認知度をもっと高めていかなければいけない。私共は『成功』の反対は『失敗』ではなく『何もやらないこと』という認識を持ち続けて今年も一般缶のPRに全力で取り組んでいきたい」と挨拶した。

にも何らかのメリットがあると考えている。この一年、前向きに努力していきたい」と挨拶した。

次いでJFEスチール(株)缶用鋼板営業部缶用鋼板室の得丸正一郎室長が「一般缶は多種多様でデザインのにも工芸品の側面があり、使い終わってから書類や写真を保管する入れ物に再利用できる。こうした一般缶の優れた価値をアピールして普及に努めていくような会話をさせていただければと思っています。元旦から1年の心づもりをしながら色々な事に備えることが大切であり、江戸時代の浮世草子にも『元旦より胸算用油断なく一日千金の大晦日を知るべし』とある。この1年、皆様の商売と一般缶業界の発展を祈念する」と挨拶し、乾杯の音頭をとった。

来賓を代表し、経済産業省製造産業局金属課の山下隆也課長は「鉄鋼業界の新年会に出席して皆様の顔色は総じて悪くない印象をもった。安倍政権では『賃上げ』『働き方改革』を求めているが、大手企業はともかく中小企業ではなかなか難しい。とくに下請中小企業が適正な取引を通じて少しでも利益があるような環境整備を図っていく必要がある。鉄鋼業に関しては『鉄鋼産業取引適正化ガイドライン』があるが、例えば原材料やエネルギーコストの価格転嫁や手形・現金比率の問題などの見直しを今年3月までに行っていくので協力をお願いしたい。また2025年関西地区万博の誘致活動を官民挙げて計画。業界の皆様

久委員長の中心で散会した。

歓談ののち、全日本一般缶PR活動推進協議会広浜泰久委員長の中心で散会した。

協賛活動を進めたい。また2025年関西地区万博の誘致活動を官民挙げて計画。業界の皆様



主催者挨拶をする定村会長



来賓挨拶をする山下課長



乾杯の音頭をとる得丸室長



中締め挨拶をする広浜委員長



新年賀詞交歓会の歓談風景

西日本一般缶工業協同組合は平成29年1月10日、大阪市梅田のホテルグランヴィア大阪で新春懇親会を開催し、組合員会社など13名が出席した。

中田成一理事長は冒頭の挨拶で「昨年を振り返って、4月に熊本地震と8月に台風10号が東北・北海道に多大な被害をもたらした。復興に向け努力されているので、しっかりと応援していきたいと思う。同じ8月にリオ五輪での日本選手の活躍、特に体操の男子レスリングの女子には、最後の最後まであきらめずに金をとったことに感動した。日本経済では、アベノミクスの新3本の矢が具体的な施策として実現することに期待している。一般缶業界は、鋼材値上げ、国内外の様々な不安定要素に向かって厳しい年明けになった。業界あげて情報や技術を共有しながら、製缶メーカー自身が幅広く消費者へ発信し販売を広げて行きたい。皆様と共に知恵を出し合って業界の発展に繋がるようにしっかりと努力していく」と述べた。続いて中田理事長の音頭で乾杯したあと、賀詞交歓と和やかな懇親に移った。最後に清水雄一郎副理事長が閉会の挨拶を行い盛會裡に散会した。

西日本一般缶工業協同組合

新春懇親会を開催



新春懇親会の様子

企業PR、情報発信の方向性を考える上で重要な課題に

全日本一般缶工業団体連合会は平成28年10月14日、大阪市淀川区のメルパルク大阪で第2回「エシカル消費」勉強会を開催した。会員企業の関係者ら36名が出席した。同会は西日本一般缶工業協同組合の山田秀雄事務局長。始めに全日本一般缶PR活動推進協議会広浜泰久委員長が「エシカルと聞いても私たちは、なかなか目を向けることも無いし、何が問題なのかすら分からない。これからの時代はエシカルが重要なキーワードになってくる。本日取り上げるエシカルというテーマを自社の経営にどうつなげていくか、各社で議論していただきたい」と挨拶した。講師は(株)デミパブリックリレ

ーションズの田熊秀美取締役。平成28年3月18日東京で開催した第1回と同じテーマ「企業PRにおける『エシカル』は不可欠な時代に」と題して講義が行われた。田熊取締役は、エシカルの意味、エシカル消費が広がっている背景とその事例、エシカル経営とビジネス潮流の変化などについて説明してから、エシカルな行動を実践し目指す方向性を示すことがエシカル経営の一番のポイントであり、それをウェブ・ポスター・社内報・広告などで伝えたり、ニュースリリースして報道機関に記事にしてもらい、この記事をウェブサイトに乗せてPRしていくことが重要であると結んだ。

西日本一般缶工業協同組合

4S会会議を開催

4S会会議が平成28年10月12日、尼崎市のホップインアミングで開催された。関西地区の西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合(幹事)、西日本一般缶工業協同組合と西日本クラウンズ会から合わせて20名が出席した。第1議題では各組合の業界状況や関連諸問題について、第2議題の情報交換では一般缶関係で組合員の廃業発生、労働時間の短縮、小ロット対応、環境問題、運賃コスト、労働力の確保難、製缶技術の継承、業界の将来などが話し合われた。

一般缶缶友会

平成27年度通常総会を開催

一般缶缶友会は平成28年8月22日、東京・千代田区の第7東ビルで平成27年度通常総会を23名の出席のもとで開催した。二橋英之副会長の司会進行で始まり、齋藤光由会長が挨拶し、鳴原邦明理事が出席状況報告を行った。議長に齋藤会長が選ばれ、上程された議案はすべて原案通り決定された。今回は任期満了に伴う役員改選があり、理事に齋藤光由、二橋英之、小林達生、神宮善太郎、江連一、山本健士、鳴原邦明、監査役に新藤大介が選任された。

定村会長「次代を担う子供たちに夢や希望を与えられればと期待」 小泉校長「日本の工業の素晴らしさ、匠のすごさを学んでもらう」

全日本一般缶工業団体連合会は平成28年11月22日、東京・浅草橋の台東区立台東育英小学校で、同連合会が自主制作し、一般缶の製造工程などが分かりやすく学べるDVD「人の技と夢が詰まった一般缶」の贈呈式・試写会を開催した。

同連合会の野口雅春専務理事が司会進行を行い、はじめに定村光会長が「もともと台東区や墨田区には製缶会社がたくさんあり、地場産業であった経緯から地域の台東育英小学校の生徒にこのことを知っていただくためDVDを制作した。計画から3年かけて完成したが、小泉と吉校長をはじめ諸先生方にご協力をいただき、分かりやすい内容となった。このDVDを学

校教材として使っていたとき、次代を担う子供たちに夢や希望を与えるものになればと期待する」と挨拶し、定村会長から制作の監修を担った同校の小泉校長に完成したDVDを贈呈した。小泉校長は「平成25年11月に加藤利夫元PTA会長から一般缶組合を紹介していただいた折りに、

「台東区は一般缶の地場産業であることを子供たちに広く伝えていきたい」という一般缶組合の思いを聞いた。このことを伝える方法として、実際の工場見学を通じて工場で働く人から本物の話を聞くのがいいが、今では工場が郊外に移っているので難しいというところで、このDVDの制作につながった。子供たちに自分の住んでいる地域で何の産業が行われ、そこでどういう人が頑張っているのかを知ってもらおう。これから



台東育英小学校でのDVD贈呈式と試写会に参加した方々

広く台東区の小学校に日本の工業の素晴らしさや匠のすごさをこのDVDを使って学んでいただきたい。今日がその第一歩である」と挨拶した。試写会では「プロローグ」「缶の材料とデザイン」「金属印刷の工程」「製缶の工程」「充填の工程」「一般缶の歴史と3R」「エピソード」からなる約20分の映像が披露された。最後に全日本一般缶PR活動推進協議会広浜泰久委員長が「このDVDが日本の匠の素晴らしさを子供たちに伝えるきっかけになればいい」と挨拶し閉会した。

「業績向上取組事例」「一般缶材質表示マークの使用」をテーマに意見交換

全日本一般缶工業団体連合会は平成28年10月14日、大阪市淀川区のメルパルク大阪で第41回全国流通委員会・部会協議会を開催した。今回は西日本組合の当番で東日本組合、西日本組合、中部組合から31名が出席した。

全体会議では、中部組合の池田祥三理事長、東日本組合の定村光理事長、西日本組合の中田成一理事長の順に近況報告が行われた。次いで広浜泰久全日本一般缶PR活

動推進協議会委員長から活動報告があった。続いて4グループに分かれて「各社の業績向上取組事例」「各社の一般缶材質表示マークの使用動向状況と今後の方針」について活発な討議が行われた。このあとAグループ長の大阪製罐(株)石橋寿恵夫氏、Bグループ長の善友金属(株)小松武氏、Cグループ長の金方堂松本工業(株)福室義昭氏、Dグループ長の(株)ライトハウス金属工場辻本年

克氏が討議報告を行った。

「一般缶の知らぬDVDを上映」
「一般缶の環境適正をアピール」

全日本一般缶工業団体連合会は平成28年12月8日から10日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた参加体験型環境イベント「エコプロダクツ2016」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。今回のテーマは「持続可能な社会の実現に向けて」。

会員会社から提供された一般缶を展示したほか、一般缶の特長や金属印刷の流れを説明したパネルを掲示した。さらに今回から同連合会が平成28年11月に制作したDVD「人の

技と夢が詰まった一般缶」の中の「一般缶と3R(スリーアール)」の

とスチール缶リサイクル協会のDVD「無

限リサイクルの秘密」を合体させたビデオをエンドレスで上映した。会期中の来場者数は昨年より2千人ほど少ない1670人ほど上回る5500人が訪れ「スチール缶リサイクルクイズ」に挑戦し、スチール缶のエコロジーを学んだ。



リサイクルPRビデオが上映されたスチール缶ブース

大阪中央会会長表彰受賞

西日本一般缶工業協同組合 中田理事長

平成28年9月15日、大阪・中央区のマイドームおさかで開催された大阪府中小企業団体中央会第58回中小企業団体大阪大会で多年組合の経営に尽力され組合発展に貢献された功績により、西日本一般缶工業協同組合の中田成一理事長が同会長表彰を受賞した。

東京中央会会長表彰受賞

東日本一般缶工業協同組合 鳥居廣副理事長

平成28年10月13日、東京・千代田区の新宿区立本郷第二小学校で開催された東京都中小企業団体中央会表彰式で多年組合の向上発展に寄与した功績により、東日本一般缶工業協同組合の鳥居廣副理事長、最上裕光常任理事が同会長表彰を受賞した。

経済産業省金属課幹部が
水戸部製缶(株)船橋工場を視察

経済産業省製造産業局金属課金属技術室の坂元耕三室長以下、同課の幹部3名が平成28年11月10日、水戸部製缶(株)船橋工場(千葉県船橋市習志野4)を視察した。同工場では主に海苔や菓子など食品用の一般缶を手掛けている。坂元室長らは始めに応接室で水戸部伸寿社長と望月晴正取締役工場長から同社の生い立ちや製品作りの工程など、質疑応答を交えながら説明を受けた。このあと同工場と隣接する(株)日本金属印刷所の工場で見学してから、製缶工場に戻り、スリッター→角蓋ライン→品質管理室→溶接ライン→丸底・丸蓋ライン→角胴ラインの順に見学した。坂元室長は「同社が1世紀を超えるもの間、社会的恐慌や関東大震災などの風雪を乗り越え、ますます多様化してきているお客様のニーズに対し果敢に取り組んでいることについて、大変感銘を受けた。本日の見学で学んだことを生かして、今後の執務にあたりたい」と感想を述べた。

平成28年6月～11月までの一般缶生産出荷実績 (単位:t)

	年月	生産	出荷		在庫
			販売	その他	
経済産業省データ	28. 6	5,812 (5,051)	4,909 (5,014)	451 (413)	9,130 (6,693)
	7	5,084 (5,198)	4,635 (5,086)	575 (349)	9,085 (6,524)
	8	4,821 (4,310)	4,107 (3,955)	569 (267)	9,350 (6,674)
	9	5,393 (4,946)	4,576 (4,187)	471 (449)	9,793 (7,100)
	10	4,737 (5,590)	4,805 (5,127)	301 (373)	9,481 (7,305)
	11	5,261 (5,718)	5,332 (5,544)	251 (344)	9,398 (7,271)
連合会データ	28. 6	3,776 (3,708)	3,582 (3,628)		4,813 (3,939)
	7	3,628 (3,792)	3,486 (3,718)		4,901 (3,940)
	8	3,483 (3,412)	3,302 (3,294)		5,025 (3,906)
	9	3,835 (3,788)	3,574 (3,513)		5,222 (4,123)
	10	3,894 (4,240)	3,784 (4,072)		5,231 (4,152)
	11	4,195 (4,369)	4,249 (4,338)		5,116 (4,176)

()内は前年同月実績
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載

謹賀新年

(順不同)

東日本一般缶工業協同組合

理事長 定村 光
東京都台東区台東一六一六
第一古茂田ビル2F
電話〇三(五八一七)七三三八
FAX〇三(三三三)九三五〇

株式会社ヒロハマ

代表取締役社長 本多三郎
東京都墨田区石原二二八八一
電話〇三(三六二五)一六八〇
FAX〇三(三六二五)一六八八

杉浦製罐株式会社

代表取締役 杉浦由記夫
茨城県守谷市百合ヶ丘二一四八〇七
電話〇二九七(四八)二五五一
FAX〇二九七(四八)二五五二

生野金属株式会社

代表取締役 小西康晴
大阪府高石市高砂三二二四
電話〇七二(二六八)〇七七七
FAX〇七二(二六八)〇七八二

新日鐵住金株式会社

代表取締役社長 進藤孝生
東京都千代田区丸の内二一六一
電話〇三(六八六七)四一一一
FAX〇三(六八六七)五六〇七

西日本一般缶工業協同組合

理事長 中田成一
大阪府大阪市北区天神橋一四一七
千代田第一ビル
電話〇六(六三三三)一九七三
FAX〇六(六三三三)一九六七

工又工金属工業株式会社

代表取締役社長 中田則彦
茨城県つくば市緑ヶ原四一六
電話〇二九(八四七)七二二〇
FAX〇二九(八四七)六七七九

東邦金属工業株式会社

代表取締役 澤田武史
東京都江戸川区松島四一三七一六
電話〇三(三六五四)八九一一
FAX〇三(三六五四)七三四八

大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水雄一郎
大阪府東大阪市岩田町二一三二一八
電話〇六(六七二)五五四五
FAX〇六(六七二)三四七〇

JFEスチール株式会社

代表取締役社長 柿木厚司
東京都千代田区内幸町二二一三
電話〇三(三五九七)三一一一

中部製罐工業協同組合

理事長 池田祥三
愛知県瀬戸市安戸町一三一八
電話〇五六(八四)四八五八
FAX〇五六(八四)四八五八

江戸川製罐株式会社

代表取締役 加島 裕
東京都江戸川区平井五一四六一九
電話〇三(三六一)四一三一
FAX〇三(三六一)五〇三四

中川製罐株式会社

代表取締役 中川太郎
東京都文京区湯島三一六一一三
電話〇三(三八三六)〇六九一
FAX〇三(三八三六)〇六九三

工一又精器株式会社

代表取締役 有山信夫
大阪府東大阪市西石切町
電話〇七二九(八二)一〇八一
FAX〇七二九(八二)一〇六七

東洋鋼板株式会社

代表取締役社長 隅田博彦
東京都千代田区四番町二一一二
電話〇三(五二二)六二一一
FAX〇三(五二二)〇一八一

全日本金属印刷工業協同組合

会長 中田正和
東京都墨田区業平一一一六
本所ビル二階
電話〇三(三六二六)二四一一
FAX〇三(三六二六)二五〇二

金方堂松本工業株式会社

代表取締役社長 竹内雅夫
東京都台東区東上野一一二八一二
電話〇三(三八三二)一一九一
FAX〇三(三八三二)七二四四

日進製缶株式会社

代表取締役 小黒保満
埼玉県八潮市南後谷五〇八一二
電話〇四八(九三五)三五六一
FAX〇四八(九三二)一八四九

江戸川製罐工業株式会社

代表取締役 渡邊静雄
大阪府大阪市鶴見区今津北
電話〇六(六九六八)六七六一
FAX〇六(六九六八)三二五八

北海製罐株式会社

代表取締役社長 久保田裕一
東京都千代田区丸の内二一一二
丸の内三井ビル
電話〇三(三三三)五一八〇
FAX〇三(三三三)五一二六

東京都鋳力地金商業協同組合

理事長 高野康弘
東京都中央区日本橋大伝馬町一一七
電話〇三(三六六三)八三五七
FAX〇三(三六六三)八三五八

齋藤製罐株式会社

代表取締役 齋藤光由
神奈川県横浜市瀬谷区本郷
電話〇四五(三〇)五九一一
FAX〇四五(三〇)五九三五

水戸部製缶株式会社

代表取締役社長 水戸部伸寿
東京都千代田区神田和泉町
電話〇三(三八六六)一一六六
FAX〇三(三八六六)二三八八

奥村製罐株式会社

代表取締役 奥村清司
京都府綴喜郡井手町大字多賀
小字西松ヶ花一
電話〇七七四(八二)二〇七八
FAX〇七七四(八二)四三二四

全日本一般缶工業団体連合会

会長 定村 光
副会長 中田成一
副会長 池田祥三
東京都台東区台東一六一六
古茂田ビル2F
電話〇三(五八一七)七三三八

寺島製缶工業株式会社

代表取締役 定村 光
東京都葛飾区立石二二二五一一
電話〇三(三六九三)〇八四一
FAX〇三(三六九四)七七五九

株式会社神宮製作所

代表取締役 神宮善太郎
千葉県野田市上三ヶ尾二六一
電話〇四(七二五)一一六一
FAX〇四(七二五)三六三七

平和製罐株式会社

代表取締役 中田成一
大阪府大阪市中央区道修町一一五一八
電話〇六(六三三三)二二八八
FAX〇六(六三三三)二二八九

新高垣製缶株式会社

代表取締役 高垣悦夫
奈良県天理市永原町五五
電話〇七四三(六七)三一一一
FAX〇七四三(六七)三一一四

謹賀新年

(順不同)

善友金属株式会社 代表取締役社長 砂川 秀樹 大阪府大阪市淀川区加島 電話 〇六(六三〇九)四〇三一 FAX 〇六(六三〇一)二一〇〇 四一〇一四四	株式会社ライトハウス 金属工場 代表取締役 岩橋 徹 大阪府大阪市鶴見区今津中 電話 〇六(六九六三)〇四四一 FAX 〇六(六九六八)二二九八	有限会社山野初製缶所 代表取締役 木下 光美 大阪府八尾市太田七一一〇 電話 〇七(二九四八)〇五五八 FAX 〇七(二九四八)二八五五	明邦鋼業株式会社 代表取締役社長 窪島 孝行 埼玉県越谷市新川町一一一四五 電話 〇四八(九八七)〇七〇一 FAX 〇四八(九八七)〇七三〇	富安金属印刷株式会社 代表取締役 菊井 治 埼玉県草加市苗塚町五七七 電話 〇四八(九二五)一五八一 FAX 〇四八(九二八)二六二〇	松本金属工業株式会社 代表取締役 松本 勝俊 大阪府大阪市北区天満二一一一八 電話 〇六(六三三三)〇九四一 FAX 〇六(六三三三)九四四九
日西製罐株式会社 代表取締役 矢谷 満里子 大阪府大東市御領三一一一〇 電話 〇七(二八七四)〇九七一 FAX 〇七(二八七五)四二五二	日東製罐販売株式会社 代表取締役社長 安藤 宏行 愛知県岡崎市宮地町字郷東三九 電話 〇五六四(五一)一五六一 FAX 〇五六四(五一)一五六三	高野興業株式会社 代表取締役 高野 康弘 東京都墨田区本所一一一一三 電話 〇三(三六二三)一一六六 FAX 〇三(三六二二)六二六四	株式会社MOBY 代表取締役社長 清野 泰樹 千葉県市川市塩浜一一一四 電話 〇四七(三〇六)〇二一〇 FAX 〇四七(三〇六)〇二一九	株式会社江連金属印刷所 代表取締役 江連 一 千葉県松戸市上本郷八一 電話 〇四七(三六二)〇一三五 FAX 〇四七(三六二)八七一五	三幸商事株式会社 代表取締役社長 武田 有広 大阪府大阪市西区北堀江 電話 〇六(六五四)九三三一 FAX 〇六(六五四)三五八八
三国金属工業株式会社 代表取締役 辻 巨彦 大阪府豊中市豊南町西四一七一〇 電話 〇六(六三三三)〇二五一 FAX 〇六(六三三四)〇二五五	日東製罐販売株式会社 代表取締役社長 安藤 宏行 愛知県岡崎市宮地町字郷東三九 電話 〇五六四(五一)一五六一 FAX 〇五六四(五一)一五六三	富安株式会社 代表取締役社長 田川 正之 東京都墨田区太平四一五一一五 電話 〇三(五六一一)七七七〇 FAX 〇三(五六一一)七七六〇	大成ブリキ印刷株式会社 代表取締役 中田 正和 茨城県稲敷郡河内町長竿富田四四六二 電話 〇二九七(八六)二二〇一 FAX 〇二九七(八六)二四二〇	新里機工株式会社 代表取締役 金澤 幸一 埼玉県川口市東領家四一七一 電話 〇四八(二九一)九〇九七 FAX 〇四八(二九一)九〇九八	株式会社神光 代表取締役 小河 薫 大阪府吹田市南正雀一一二八一一 電話 〇六(六三八)四四六六 FAX 〇六(六三八)六〇一一
明和金属工業株式会社 代表取締役 渋谷 眞理子 大阪府高石市取石七一一一六 電話 〇七(二二七四)一一〇一 FAX 〇七(二二七二)六三六五	日東製罐販売株式会社 代表取締役社長 安藤 宏行 愛知県岡崎市宮地町字郷東三九 電話 〇五六四(五一)一五六一 FAX 〇五六四(五一)一五六三	中村商事株式会社 代表取締役社長 中村 定 東京都千代田区神田和泉町一一七一 電話 〇三(五六八七)五九一一 FAX 〇三(五六八七)六一五五	東都金属印刷株式会社 代表取締役 菅谷 誠一 千葉県船橋市小野田町一五二一一三 電話 〇四七(四五七)五四六一 FAX 〇四七(四五七)七二三八	株式会社N・P・W技研 代表取締役社長 山本 健士 三重県伊勢市佐八町八九四 電話 〇五九六(三九)一一三三 FAX 〇五九六(三九)一一三六	日東金属工業株式会社 代表取締役 大久保 八城 大阪府八尾市太田七一一一六 電話 〇七(二九九九)六七一一 FAX 〇七(二九九九)六七五九
山雄製缶工業株式会社 代表取締役 山本 浩之 大阪府大阪市北区大淀中 電話 〇六(六四五)五一四一 FAX 〇六(六四五)〇八二一 五一一一二四	高野興業株式会社 代表取締役 高野 康弘 東京都墨田区本所一一一一三 電話 〇三(三六二三)一一六六 FAX 〇三(三六二二)六二六四	東都金属印刷株式会社 代表取締役 菅谷 誠一 千葉県船橋市小野田町一五二一一三 電話 〇四七(四五七)五四六一 FAX 〇四七(四五七)七二三八	株式会社N・P・W技研 代表取締役社長 山本 健士 三重県伊勢市佐八町八九四 電話 〇五九六(三九)一一三三 FAX 〇五九六(三九)一一三六	株式会社井上博商店 代表取締役社長 井上 紀人 大阪府大阪市住吉区万代東 電話 〇六(六六九)一一二五 FAX 〇六(六六九)一一二七	是松鋼商株式会社 代表取締役社長 是松 一郎 大阪府東大阪市楠根二一六一三 電話 〇六(六七四八)二三六一 FAX 〇六(六七四六)〇四〇〇

謹賀新年

(順不同)

西部容器株式会社

代表取締役社長 川島大吾
大阪府摂津市別府二一三一―一八
電話〇六(六三三九九)一六五一
FAX〇六(六三三九九)七二二八

株式会社伊賀井商店

代表取締役 大岩憲正
愛知県東海市南柴田町ハの割
電話〇五二(六〇三)五五九一
FAX〇五二(六〇三)五五九一

株式会社愛罐コーポレーション

代表取締役 桑田敬士
東京都渋谷区恵比寿南一―一六一―一
電話〇三(五七二〇)五五一五
FAX〇三(五七二〇)五五一六

大貫金属工業株式会社

代表取締役 大貫賢充
東京都葛飾区東新小岩五―一七―一
電話〇三(三六九一)六一七九
FAX〇三(三六九一)六一七九

日本メタルプリント株式会社

代表取締役 大塚吉弘
千葉県船橋市南海神一―一八―一
電話〇四七(四三五)〇〇一一
FAX〇四七(四三三)九七六一

西日本一般缶工業協同組合

第13回技術交流会を開催

西日本一般缶工業協同組合は平成28年7月29日、善友金属(株)本社・工場第13回技術交流会を開催した。組合員24名が参加し各社の製造担当者を中心に工場見学及び情報交換会を行った。

全体会議では、同社小松武所長の司会で進行し、議題の「製缶における製造効率化についての情報交換」に關し①日常の製造業務での意見交換の出来ること②製造業務のなかで各社工夫していることの実例などを話し合った。

◆東日本一般缶工業協同組合

CPSM会

平成28年11月9日、千葉カントリイクラブ梅郷コースで第61回CPSM会を開催した。参加者は22名。上位入賞者は次の通り。

- 優勝 江守 毅氏(大日製罐) 52・51・103・28・75
- 二位 二橋英之氏(二橋プリント) 47・47・94・18・76
- 三位 江連一義氏(江連金属印刷所) 48・47・95・18・77

◆西日本一般缶工業協同組合

缶友会ゴルフ会

平成28年10月20日、京都府の田辺カントリー倶楽部で、晴天の下、第148回のゴルフ会を開催した。上位入賞者は次の通り。

- 優勝 武田和久氏(三幸商事) 38・41・1・79
- 二位 佐藤一平氏(佐藤製缶) 41・41・1・82
- 三位 是松一郎氏(是松鋼商) 43・46・1・89

平成28年8月から平成29年1月までの行事

【東日本一般缶工業協同組合】

- 平成28年 第1回流通委員会
- 8/22 東・西組合会議
- 8/25 事務局長協会「総務部会」
- 9/13 第1回3組合統合特別委員会
- 9/16 第3回常任理事会
- 9/16 第3回理事会(役員会)
- 9/28 東京中央会「中小企業トップセミナー」
- 10/7 第1回教育・組織委員会
- 10/7 組合士協会「新事業研究部研修会」
- 10/10 CPSM会会議
- 10/10 組合士協会「常任理事会」
- 10/10 事務局長協会「職員交歓会」
- 10/10 東京上野税務署「年末調整等説明会」
- 11/4 第61回CPSM会
- 11/9 組合士協会「女性部研修会」
- 11/9 第2回3組合統合特別委員会
- 11/9 組合士協会「役員会」
- 11/9 全日本PR協議会・東日本組合合同忘年会

【西日本一般缶工業協同組合】

- 平成29年 東京中央会「新年賀詞交歓会」
- 1/17 三役年始挨拶回り
- 1/17 第3回3組合統合特別委員会
- 1/20 第4回理事会(役員会)
- 平成28年 役員会
- 8/5 東・西組合会議
- 8/15 第58回中小企業団体大阪大会
- 9/15 合同部会
- 9/27 4S会
- 10/20 缶友会ゴルフ役員会
- 12/2 新春懇親会
- 12/2 大阪金属印刷工業協同組合「新年互礼会」
- 1/12 合同部会・技術交流会懇親会
- 1/25 【全日本一般缶工業団体連合会】
- 平成28年 経済産業省金属課「平成28年度鉄鋼製品業況ヒアリング」
- 9/5 経済産業省金属課「下請等中小企業の取引条件改善の取組に関するミーティング」

【記者説明会】

- 10/12 スチール缶リサイクル協会
- 10/14 第2回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 10/14 第2回「エシカル消費」勉強会
- 10/14 第41回全国流通委員会・部会協議会
- 10/25 エコプロダクツ2016
- 10/25 「出展ブースWG会議」
- 11/10 スチール缶連絡協議会
- 11/10 経済産業省金属課「一般缶工場視察」(水戸部製缶(株)船橋工場)
- 11/11 第11回容器包装3R推進フォーラムinにつぼり
- 11/22 一般缶もの知りDVD贈呈式・試写会(台東育英小学校)
- 11/25 日本中小企業団体連盟「秋期省エネセミナー」
- 12/8 全日本PR協議会・東日本組合合同忘年会
- 12/9 鉄鋼製品団体協会「施設見学会(日産自動車横浜工場)」
- 平成29年 三役年始挨拶回り
- 1/13 ドラム缶工業会「新年賀詞交歓会」
- 1/17 全国十八リットル缶工業組合連合会「新年賀詞交歓会」
- 1/20 第1回理事会(役員会)・第3回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 1/20 新年賀詞交歓会
- 1/20 スチール缶連絡協議会
- 1/20 鉄鋼製品団体協会「研修会・新年会」

【一般缶缶友会】

- 平成28年 会計監査
- 8/8 平成27年度通常総会・納涼会
- 8/22 理事会・忘年会
- 12/1 理事会・新年会
- 平成29年 理事会・新年会

【東日本一般缶工業協同組合】

- 2/20 事務局長協会「理事会」
- 2/20 第37回優良従業員表彰式
- 2/20 組合士協会「常任理事会」
- 2/22 事務局長協会「新年交流会」
- 2/23 教育講習会「知っておきたい発想法」

【西日本一般缶工業協同組合】

- 3/17 役員会
- 3/23 4S会ゴルフ
- 4/11 缶友会ゴルフ
- 5/18 第49期定時総会
- 7/11 合同部会
- 8/4 役員会

組合伝言板

【新規加入会員】

(東日本組合協力会員)
柳池上金属印刷
埼玉県八潮市大曾根1289
電話(048)9996-0039
FAX(048)9996-2727
平成28年9月

【お悔やみ】

平成28年11月18日
(株)三友機械製作所会長
徳永一廣様ご逝去
平成28年11月25日
(株)佐々木商店代表取締役
佐々木昌広様ご逝去